

# Mizuho Daily Market Report

2024/5/31

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	156.98	156.82	▲0.82	▲0.11
EUR	1.0809	1.0832	+0.0031	+0.0017
AUD	0.6609	0.6633	+0.0023	+0.0027
SGD	1.3519	1.3501	▲0.0021	▲0.0017
CNY	7.2466	7.2327	▲0.0165	▲0.0102
MYR	4.7070	4.7045	+0.0000	+0.0007
THB	36.85	36.80	+0.05	+0.28
IDR	16263	16260	+100	+267
PHP	58.61	58.65	+0.21	+0.52
INR	83.38	83.32	▲0.03	+0.03
VND	25455	25455	▲3	▲12

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.546%	▲6.6 bp	+6.9 bp
日本(10年)	1.064%	▲2.1 bp	+6.2 bp
ユーロ圏(10年)	2.652%	▲3.8 bp	+5.6 bp
オーストラリア(5年)	4.128%	+2.0 bp	+16.7 bp
シンガポール(5年)	3.358%	+1.4 bp	+10.3 bp
中国(5年)	2.080%	▲0.3 bp	▲3.0 bp
マレーシア(5年)	3.699%	+0.9 bp	+0.6 bp
タイ(5年)	2.518%	+0.5 bp	▲0.2 bp
インドネシア(5年)	6.928%	+2.0 bp	+9.0 bp
フィリピン(5年)	6.455%	+3.6 bp	+3.2 bp
インド(5年)	7.056%	▲0.7 bp	+2.0 bp
ベトナム(5年)	2.200%	+0.0 bp	+0.0 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,111.48	▲0.9%	▲2.4%
N225(日本)	38,054.13	▲1.3%	▲2.7%
STOXX50(ユーロ圏)	4,982.18	+0.4%	▲1.1%
ASX(オーストラリア)	4,494.75	+0.7%	▲1.1%
FTSTI(シンガポール)	3,323.38	+0.0%	+0.0%
SSEC(中国)	3,091.68	▲0.6%	▲0.8%
SENSEX(インド)	73,885.60	▲0.8%	▲2.0%
JKSE(インドネシア)	7,034.14	▲1.5%	▲2.6%
KLSE(マレーシア)	1,604.26	▲0.1%	▲1.5%
PSE(フィリピン)	6,371.75	▲0.6%	▲4.3%
SETI(タイ)	1,351.52	+0.1%	▲1.2%
VNINDEX(ベトナム)	1,266.32	▲0.5%	▲1.1%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	293.00	▲1.6%	▲0.3%
金	2,343.07	+0.2%	+0.6%
原油(WTI)	77.91	▲1.7%	+1.4%
銅	10,007.14	▲3.1%	▲3.0%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	156.10	—	158.00
EUR/USD	1.0740	—	1.0950
AUD/USD	0.6490	—	0.6790
USD/SGD	1.3390	—	1.3680
USD/CNY	7.2350	—	7.2680
USD/INR	4.6260	—	4.8050
USD/THB	35.90	—	37.40
USD/IDR	15880	—	16300
USD/PHP	56.70	—	58.80
USD/INR	82.30	—	83.70
USD/VND	25,000	—	26,000

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel. 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は157円半ばでオープン。東京仲値にかけてドル売り優勢の展開となり、その後も軟調に推移し、東京15時過ぎには156円台後半まで下落した。日本株の大幅下落を背景としたリスクオフ的なクロス円の下落も、ドル円相場の下押しとなった。結局、156円台後半で海外時間に渡った。アジア通貨はドル高を背景に韓国ウォン主導で下落。市場では、米連邦準備理事会(FRB)がインフレ指標として重視する31日発表の個人消費支出(PCE)価格指数に注目が集まる。

海外市場のドル円は156円台後半でNYオープン。NY朝方に発表された米第1四半期GDP(改定値)が前回の1.6%から1.3%に下方修正されたことや、構成項目の個人消費も前回より低下した結果を受け、ドル売りが先行し、156円台前半まで値を下げる。その後は売り一巡となり、156円台半ばまで戻す。NY午後はウィリアムズ・ニューヨーク連銀総裁が「現行の金融政策が景気を抑制している証拠は十分ある」との認識を示すも、ドル円は反応薄。終盤にかけては156円台後半まで反発し、クローズ。

## 【金利】

米金利市場は低下。米GDP改定値が下方修正されたほか個人消費に係る指数も弱含み、株安・金利低下の流れに。ウィリアムズNY連銀総裁とボスティブックアトランタ連銀総裁のハト派発言も伝わっており金利低下の背景となった模様。米株式は続落。前日引け後の決算発表などを受けて安寄り、下げ渋るも終日軟調な展開。

## 【予想】

本日のドル円は底堅い推移を予想。今朝方公表された5月の東京都都部の消費者物価指数は3カ月ぶりにプラス幅は拡大したものの、1.9%と目標の2%には届かなかったこともあり、円高材料は引き続き限定的といえる。本日に米インフレ指標の発表を控える中、引き続きドル円は底堅い値動きとなると予想する。

## 【本日の予定】

(日本) 4月 住宅着工件数 / 住宅着工戸数  
(日本) 4月 失業率 / 有効求人倍率  
(日本) 4月 鉱工業生産(速) / 小売売上高 / 百貨店・スーパー売上高  
(日本) 輪番 3-5y、5-10y、10-25y、25y起  
(アジア) 1Q インド GDP / GVA  
(アジア) 4月 インド インフラ産業8業種  
(アジア) 4月 シンガポール 国外居住者預金・残高  
(アジア) 4月 タイ 国際収支  
(アジア) 4月 フィリピン 銀行貸出動向  
(アジア) 4月 豪 民間部門信用  
(アジア) 5月 中国 製造業PMI / 非製造業PMI  
(アジア) アジア安全保障会議(シンガポール)  
(アジア) インド 年間GDP予想  
(欧州) 4月 英 住宅証券融資高 / 住宅ローン承認件数  
(欧州) 4月 英 消費者信用残高  
(欧州) 5月 ユーロ圏 CPI(速)  
(欧州) 5月 英 ロイス 景気指数  
(米国) 4月 個人所得 / 個人支出  
(米国) 4月 実質個人支出 / PCE価格指数 / PCEコア価格指数  
(米国) 5月 MNIシカゴPMI  
(米国) ロガン・ダラス連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。